2017 年 10 月 30 日
薬剤部　薬品情報管理室

# ビグアナイド薬の処方と造影 CT のある患者

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は検査薬と持参薬の相互作用を確認することで重大な副作用を回避し、適切な治療につながった事例のプレアボイドを紹介いたします。

## 患者背景

Ｎさん

・未破裂動脈瘤に対して手術加療目的にて入院の患者
初回面談のため訪室

【処方】メトホルミン塩酸塩錠 250mg　３錠　　毎食後　　７日分

今朝も薬飲んできたよ。
明後日、検査するって聞いてます。どんな検査かはよくわからん。なんか CT って言よったような。

薬剤師

なるほど。
どのような検査をされるのか確認してきますね。

---

看護師

Ｎさんはどのような検査をされる予定ですか。

明後日にヨード造影検査を行う予定です。

持参薬でメトホルミンを服用されているので
休薬が必要ですね。

本当ですね。いつからの休薬が必要ですか？

検査前後４８時間の休薬が必要です。

---

医師

では今日のお昼から休薬しましょう。

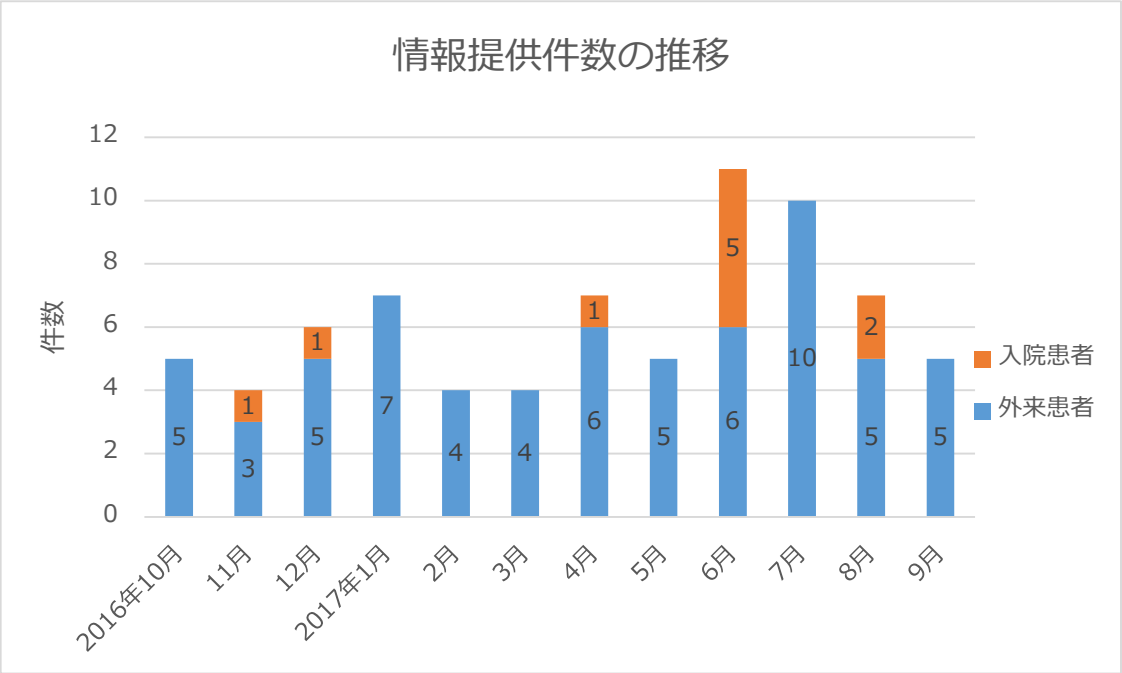
検査薬と持参薬の相互作用を確認し休薬を行うことで、適切な薬物療法の提供に貢献できた。



次のページ

## 薬剤部での取り組み

DI ニュース（2017 年 5 月 1 号 ビグアナイド薬とヨード造影剤の併用について）として
ビグアナイド薬やビグアナイド薬を含む配合剤の一覧を発行しておりますのでご確認ください。

薬剤部では、当院でこれまでにビグアナイド薬を処方された患者を対象に CT 造影の有無を調査し、検査前後に必要な休薬指示について確認しており、休薬指示がない場合は、電子カルテを通じて情報提供を行っています。今後ともご協力よろしくお願いします。

【参考】